

まわりの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(企画情報課 TEL45-9110)



▲表彰を受ける江戸行政相談委員



多年の活動に表彰 (5/12)

若狭町の行政相談委員である江戸道男さんが、総務省近畿管区行政評価局長表彰を受賞されました。

江戸さんは、平成7年に行政相談委員を委嘱されてから現在まで、町の行政相談委員として活動されており、現在は福井県内の行政相談委員で構成する福井行政相談委員協議会の理事も務めています。

今回の表彰は、江戸さんの永年の行政相談委員活動が、他の模範となる活動であると認められ贈られたものです。



イタリア料理に挑戦 (5/15)

パレア若狭のキッチンスタジオで、パレ若塾「イタリア料理教室」が開催されました。

パレ若塾は、文化活動や余暇活動につながる体験教室で、さまざまな体験教室がパレア若狭で開かれています。今回、小浜市のイタリア料理講師である相馬雅江さんに「家庭でできるイタリア料理」を習いました。

料理は、前菜のお米のサラダから、ほたるいかのパスタ、豚肩ロース肉のセージバターソース、パンナコッタの4品のコースで、出来上がりを食べた参加者は「おいしい」、「お店の料理みたい」と自ら作った料理に満足をしていました。



▲指導を受ける参加者ら
(講師の相馬さん 中央右)



▲出来上がった料理



◀レイクヒルズ美方
病院での草取り
の様子



▲松寿園での窓拭きの様子



奉仕活動に感謝 (5/24 & 6/4)

若狭町赤十字奉仕団が、5月24日にレイクヒルズ美方病院と五湖の郷、6月4日に松寿園で清掃活動を行いました。

奉仕団は、施設の利用者に気持ちよく利用してもらおうと毎年行っており、今回は2日間で約150人が施設周辺の草取りや草刈り、施設の窓拭きに汗を流しました。

施設の利用者はきれいになっていく姿を見て、自然に笑顔があふれていました。

また、6月5日に開催されたわかさあじさいマラソンでは、東日本大震災義援金の募金活動も会場内で行いました。



▲町長へ義援金を手渡す前田委員長（中央）と中西副委員長（左）



三方中から心を込めて (5/26)

三方中学校の生徒会が、全校生徒に呼びかけて集めた東日本大震災の被災地への義援金を若狭町長へ手渡しました。

義援金は、生徒会でボランティア活動などを担当する整美奉仕委員会が提案し、全校生徒に呼びかけ、2万円を目標に4月下旬から募金活動を行いました。

募金期間は6月上旬までですが、目標金額を大きく上回ったため、整美奉仕委員会の前田蓮委員長（3年）と中西雅也副委員長（2年）が、中間分として4万1,240円を町長へ届けました。

前田委員長は、「たくさん集まったのはみんなのおかげ、少しでも力になれば」と話していました。



子どもは宝です (5/28)

町から贈呈される「出産祝い金」が今年度から手渡しとなり、この日、4月中に申請があった家族へ町長が贈呈しました。

出産祝い金は、お子さんが産まれた家族に町から贈呈するもので、県内では若狭町だけで実施されています。昨年度までは口座振替により行われていましたが、町長から直接お祝いの言葉を伝えたいと手渡しによる贈呈となりました。

森下町長は、「子どもは家族としても、町としても宝。育児は大変ですが頑張ってください」と述べ、この日に受け取った大塚祐司さん（能登野）は「手渡しでもらうと実感する、大切に使いたい」と話していました。



▲訪れた家族と語り合う森下町長（左手前）



◀若狭有田駅のトイレ



▲表彰を受ける近者さん



トイレをきれいに (5/28)

社会福祉法人コミュニティーネットワークふくい若狭事業所が、小浜線利用促進協議会から表彰を受けました。

表彰は、小浜線に関する社会奉仕などの活動に功績があった方へ贈られるものです。今回、若狭有田駅を利用する同事業所のデイサービス利用者と障害者就労支援施設の通所者が、平成16年から平日の毎日ボランティアで当駅のトイレ清掃を行ったことが認められ、この日、事業管理者の近者篤さんが代表して表彰を受けました。

清掃活動をしてくれるおかげで、常に清潔で快適な駅が維持されています。



▲食育や地産地消について意見を交わすメンバー



地産地消をはじめよう (5/31)

若狭町食育連携会議が開催されました。
この会議は、食育や地産地消を推進するために、各種団体が連携することを目的として昨年発足したものです。

会議では「偏食をなくすためには家庭の味が基本だが、給食でみんながおいしそうに食べると残さず食べることもある」と意見が出され、今年度は「地場産食材の魅力を高め、子どもの味覚を育てる」を柱に活動することが話し合われました。

この日は、梅コロツケや梅きんぴら、えんどう豆ごはんなどの試食も行われ「地場産の食材は季節感を感じる。給食に取り入れたい」など実践に前向きな意見が出されました。



若狭町PR大作戦 (6/2)

気山小学校の6年生の児童9人が修学旅行で訪れた奈良公園（奈良県）で若狭町をPRしました。

PR活動は3人1組の班に分かれ、公園の3か所で観光客に対して行いました。

児童が観光客に声をかけると、どちらから訪れたかを聞き、事前に調べておいた各都道府県の名物などを会話に含めるといった徹底したPRに、観光客からは「よく知っているね」と親しみながら、児童のPRを聞いていました。

児童は「最初はドキドキして声をかけづらかったけど、観光客に若狭町にも行ってみたいと言われた時は嬉しかった」と若狭町PR大作戦に手ごたえを感じていました。



▲観光客に若狭町について説明する児童



◀吹奏楽部のコンサートの様子



文化と芸術の広場 (6/4)

美方高校総合文化展～ラ・ベラ・ピアッツア～がパレオ若狭で開催されました。

文化展は今年で10回目を迎え、「EVOLUTION（エボリューション）」と次への進化をテーマに写真部や書道部、美術部などの作品展示が6月12日まで開かれました。

初日となったこの日には、オープニングイベントとして、理数研究部のロボットの操作など、各部の体験イベントが行われ、音楽ホールでは合唱部と吹奏楽部によるコンサートが行われました。

訪れた人は、生徒たちの作品にテーマである「進化」を感じたのではないのでしょうか。



▲生徒の力作が並ぶギャラリー



▲コウノトリについて語る養父教授



環境を考える (6/2 ~ 6/6)

鳥羽公民館において「環境を考えるコウノトリ展」が開催されました。

昨年からたびたび若狭町へ飛来し、地域の注目を集めているコウノトリを通じて環境を考えてもらおうと、同公民館が企画したもので、様々な人が撮影したコウノトリの写真や昔の観察日誌が展示されました。

最終日の6日には、コウノトリや里地里山の循環型社会に詳しい、和歌山大学大学院の養父志乃夫教授による講演会が行われ、養父教授からは「技術だけでは何もできない、手と足と汗が作り上げる」と地域の取り組みに期待を込めていました。



福井梅初出荷 (6/8)

特産福井梅の出荷シーズンとなりました。

初日となるこの日には初出荷セレモニーが行われ、梅酒に適した品種「剣先」約8 tが県内をはじめとする全国の市場へ出荷されました。

今年は1~2月の大雪や台風2号の影響もありましたが、例年並みの収穫を見込んでいます。

また、セレモニーにあわせて皇室へ献上する梅の選別作業が行われ、関係者が丁寧に選別しました。その後、今年の初梅を乗せた輸送トラックと献上用のワゴンを送り出しました。

なお、献上される梅は90kgで9日に森下町長らが三笠宮家と常陸宮家へ献上し、三笠宮家を通じて天皇家へ届けられました。



◀皇室献上用の梅を丁寧に選別する様子



▲初出荷のテープカットを行う関係者



◀現地の様子を見る荒木代表

▼使われたカヌーの破損状態を確認する関係者



真相究明を願います (6/12)

全国特定失踪者問題調査会の北陸地方現地調査が行われました。

この日は同調査会の荒木和博代表が訪れ、14年前に宮内和也さん(当時32歳、旧三方町職員)が失踪したとされる場所を調査しました。

荒木代表ら関係者からは「カヌーの壊れ方が不自然」など拉致の疑いが高いことが示されました。

宮内さんは14年前の4月24日の夕方、世久見海岸にあるカヌー艇庫へ行くと言いついて残して足取りが不明となっており、現在は、同調査会が調査した結果、拉致された確率が高いとされる1000番台リストに掲載されています。

きずな

絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

「子どもは社会の宝・まちの宝」

若狭町では、昨年度 122 人のお子さんが誕生されました。

若狭町における合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む子どもの平均人数）は、国や県を上回っているものの、長期的に見ると減少傾向にあります。

また、町内の人口は、合併後の5年間で約700人近くが減少しています。これは県全体の率に比べても早いスピードで人口減少が進んでいます。

特に、これから結婚をしてお子さんを産み育てる若者の減少は、若狭町の活性化を目指す上でとても気がかりなことです。

若狭町で新しく誕生された

お子さんの健やかな成長を願うとともに、若狭町の宝を産み育ててくださるお母さん方への感謝の気持ちをお伝えしたいと思い、このたびお母さんやご家族の方に直接お会いして「出産祝い金」をお渡しさせていただきました。

当日は、4月に誕生したお子さんのうち、4人のお母さんと1人のお父さんにお会いすることができました。中には、産まれて間もないお子さんを連れてきてくださった方もあり、お子さんの元気な様子を直接見ることができ、とても嬉しく思いました。

これから若狭町を担うご両親をはじめ、お子さんにお会いできたことは、私にとってとても刺激になり、若狭町が

目指す「次世代定住促進」への想いを新たにいたしました。

また、重点施策の1つであります「子どもの育ちを応援する事業」では、子育て支援体制の強化や安心して子どもを産み育てる環境づくり、そして親や子の心の支援を図ってまいります。

「子どもは親の背中を見て育つ」と申します。夫婦は円満に、そして我が子のために力を合わせて正しい道へと導いていただくことをお願いしたいと思います。

今後とも皆さんとともに、若狭町らしい子どもたちの育成に向けたまちづくりを進めていきたいと思っています。

広報クイズ

しりとり
うずまき
クイズ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。8つある青のマスの中の文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町企画情報課」（住所は省略可）まで送ってください。電子メールでも受け付けます（kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で5人に図書カードが当たります。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 7月15日（金）必着。

◇キーワード◇

- 6月が収穫の最盛期。若狭町が日本海側最大の産地です。特産の〇〇〇〇〇
- 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの媒体のこと。「マスー」「マルチー」
- ミルクキーウェイを日本語で言えば。
- 若狭町にある集落名。上ノ塚古墳など古墳群があります。
- 若狭町の三宅区や瓜生区で伝えられているお盆行事の1つ。〇〇〇〇念仏
- 語源は茶の湯の教えです。一生に一度しかない出会いのこと。
- その年に最も良いとされる方向です。今年南南東です。

【ヒント】

6月1日からすべての住宅に設置が義務付けられました。

《答え》 〇〇〇〇〇〇〇〇



携帯でもアクセス
メールでも応募してネ

- 宙、宝、富に共通する漢字の部首名は？
- 日本で初めて新婚旅行をしたとされる人物は？坂本〇〇〇〇（ヒント：昨年大河ドラマの主人公です）
- 手のひらの中央を横に貫いた手の筋。長寿の相といわれます。〇〇〇〇筋

①			G	②	
		C		⑦	
⑥ E		⑩		F	③
B		D		⑧	
	⑨			A	
⑤			H	④	

HAPPY BIRTHDAY



3歳です

このコーナーでは、7月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。
今回は平成20年7月生まれの3歳になるお子さまです。



逸見 洸くん

7月4日生まれ(熊川)

親: 友哉・彩帆さん

お兄ちゃんになりました!!
弟の玲くんが大好き♥



高橋 歩未ちゃん

7月12日生まれ(能登野)

親: 弘樹・恭子さん

みんなー!!いつもあそんで
くれてありがとう♥



島中 美結ちゃん

7月20日生まれ(上野)

親: 俊宏・琴美さん

女の子だけ電車が大好き!
みんな仲良くしてね♥

次回は平成20年8月生まれのお子さまが対象です。

写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて企画情報課または上中サービス室へ提出してください(メールでの送付も可)。

7月5日(火)必着です。

●問い合わせ 企画情報課 TEL 45-9110
電子メール
kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp
(受信確認のため、必ずお電話ください)

文芸ひろば

冠句
若狭町冠句の会
糧とする血となれ肉となれ一書
馬耳東風忠言助言糠に釘
小林 洪頭 錦波(小川) 伸(三田)

川柳
川柳湖畔
ほつと川柳
まうのくは賢治の灯り抱いている
千の灯に千の祈りの鎮魂歌
大野 文子(井崎) 吉村恵美子(上野)
マウンドの背中がほえるストライク
太陽が好きで飛び出す背中です
田中 文子(堤) 辻本 靖(兼田)

短歌
上中短歌会
かきり歌会
福島の原子炉建屋崩れ落ち
放射能が飛び散りてゆく
奥本 守(下吉田)
原子炉の冷却水が減るといふ
奥本 守(下吉田)
地震の被害若狭にひびく
初夏の香りは厨に満つる
由里 絹子(井崎)
雨ふる日故里の味詰め込みて
遠くの町に住む子に送る
砂原恵美子(気山)
落の皮むいたり茹でてきやら落の
由里 絹子(井崎)

俳句
海士坂俳句会
大鳥羽山水俳句会
上棟の槌音響く五月晴れ
テレビ消せば憂ひ和らぐ夏の夜
宇野由希子(大鳥羽) 宇田 葉子(大鳥羽)
育てし子も遠くに去りし夏来る
竹内富士子(海士坂) 玉村 潤子(海士坂)
深き色水面に写す花菖蒲

絆・クイズ
3歳・11月

情報BOX

募 集 ふるさとサポーター 2 期生追加募集

町の知名度アップや誘客、特産品などの販売促進のために、若狭町の魅力を日本全国へPRする「若狭町ふるさとサポーター 2 期生」を追加募集します。

■対象者

若狭町出身者、または町内在住の18歳から30歳までの方（高校生は不可）

■募集人数

8人

■サポーターの役割

町や特産品のPRなど（例：ご自身のブログなどで若狭町情報を発信）

■応募方法

住所、氏名、年齢、応募理由を記入し、FAXか電子メールで応募ください。様式は問いません。

■募集期間

募集人数に達した時点で終了します。

●問い合わせ

政策推進課 TEL 45-9112 / FAX 45-1115

電子メール seisaku@town.fukui-wakasa.lg.jp



募 集 若狭消防組合職員募集

若狭消防組合では、平成24年度の採用職員を募集します。

■採用職員の職種と採用人員

消防吏員Ⅲ種（高校卒業程度）2人程度

■採用日

平成24年4月1日からの採用

■一次試験日

9月18日（日）

■受付期間

8月1日（月）～15日（月）

■申し込み方法

若狭消防組合総務課、または管内の各分署（上中、名田庄、大飯、高浜）で申込書を配布しますので、書類に必要事項を記載して若狭消防組合総務課へ提出ください。

●問い合わせ

若狭消防組合総務課 TEL 0770-53-5212

若狭消防組合ホームページ

若狭消防組合

検索



案 内 農業委員が改選されます

平成23年7月19日に若狭町農業委員会委員の任期が満了となり、それに伴い委員の改選が行われます。

一定の要件を満たす農業者から直接選挙で選ばれる選挙委員15人と、町議会などからの推薦による選任委員で構成されます。

選挙委員の選挙に関する日程は次のとおりです。

■告示日

7月5日（火）

■選挙期日

7月10日（日）

●問い合わせ

選挙管理委員会（総務課内） TEL 45-9109

農業委員会（産業課内） TEL 45-9102



案内 今春、卒業された皆さんへ

若狭町では、今後のまちづくりの柱に「次世代の定住促進」を掲げています。

そこで、この春に卒業し、若狭町に定住された皆さんを歓迎する事業などを計画しています。対象となる方はご連絡ください。

■対象

次のすべてを満たした方が対象です。

○中学校、高等学校、短期大学、大学、高等専門学校、特別支援学校、専修学校または公共職業訓練施設を平成22年度に卒業し、社会人となった方

○平成23年6月1日現在において、若狭町に住民登録している方で、生活の本拠が若狭町にある方

■連絡方法

電話、FAX、電子メールで「氏名」「住所」「電話番号」をご連絡ください。

■連絡期限

平成23年7月11日（月）

●連絡先・問い合わせ

政策推進課 TEL 45-9112 / FAX 45-1115

電子メール

seisaku@town.fukui-wakasa.lg.jp

案内 国民年金免除申請

経済的な理由で国民年金の保険料を納付することが困難な場合は、申請すれば所得金額により保険料が免除（全額・一部）や猶予されます。保険料を未納のままにすると、万一のときに、障害基礎年金や遺族基礎年金が受給できなくなります。

■申請期間

平成23年度分・・・7月1日から1年間

（前年度分の免除申請がお済みでない場合は、7月31日までに限り受付ができます）

■免除の種類

- ①全額免除
- ②一部免除（3/4、1/2、1/4 免除）
- ③若年者納付猶予（30歳未満に限る）

■申請に必要なもの

年金手帳、印鑑
（退職者の方は離職票などの証明をお持ちください。失業特例制度が利用できます）

●問い合わせ

税務住民課 TEL 45-9106

報告 情報公開・個人情報保護制度

平成22年度の情報公開制度および個人情報保護制度の実施状況を公表します。

■行政文書公開請求

教育委員会 4件

（うち開示2件、部分開示2件）

※その他の実施機関である町長部局、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、議会に対しては請求がありませんでした。

■個人情報開示請求

0件

●問い合わせ

総務課 TEL 45-9109



案内 子どもの人権110番

一人で悩んでいませんか？「いじめ」、「体罰」、「虐待」、「悩みごと」、「心配ごと」、「疑問」など一人で悩まず何でも相談してください。

フリーダイヤル

TEL 0120-007-110

（全国共通・無料）

■強化週間

6月27日（月）～7月3日（日）

（期間中は、相談の開設時間を延長し、土・日にも相談を受け付けます）

■相談受付時間

6月27日（月）～7月1日（金）

8時30分～19時00分

7月2日（土）と7月3日（日）

10時00分～17時00分

●問い合わせ

福井県人権擁護委員連合会

福井地方法務局人権擁護課

TEL 0770-22-4210



高齢者無料電話相談

高齢者（満65歳以上）の方で、遺言や相続、土地などでお悩みの方はいませんか。福井弁護士会が無料で電話相談にあたります。

- 対象者
高齢者（満65歳以上）の方
- 相談内容
遺言、相続、土地、建物、金銭、成年後見、虐待など、法律に関するあらゆる事項
- 相談期間
7月4日～9月29日
- 相談日時
毎週月曜日と木曜日
14時00分～17時00分

相談ダイヤル

TEL 0776-23-5288

TEL 0776-29-7180

- 問い合わせ
福井弁護士会 TEL 0776-23-5255



くらしなんでも相談

法律問題など、日ごろの暮らしで困っていることに対して弁護士や金融の専門家が相談にお応えします。相談料は不要です。

- 敦賀会場
日時 7月23日（土）
10時00分～13時00分
場所 敦賀市男女共同参画センター
- 小浜会場
日時 8月7日（日）
10時00分～13時00分
場所 小浜市勤労福祉会館

- 問い合わせ
福井県労働者福祉協議会
TEL 0776-21-5929



お気軽にお越しください

7月1日からわかば保育園の子育て支援センター職員が、パレア若狭のキッズルームに常勤します。

子育て中のお母さんの広場としてお気軽にお越しください。

- 開設日時
月・水・木・金（祝祭日は除きます）
9時00分～17時00分

- 問い合わせ
福祉課子育て支援室 TEL 62-2704
三方保健センター TEL 45-1563



お米の産地がわかります

平成23年7月1日から「米トレーサビリティ法」により、小売店などで販売されるお米や米加工品の容器・包装、外食店のメニューなどで、原料にしているお米の産地がどこなのか消費者が知ることができるようになります。

- 対象品目
小売店などで販売されるもの
お米（玄米・精米など）、米粉、餅、団子、おにぎり、弁当、米菓、米こうじ、清酒、単式蒸留焼酎、みりんなど

外食店などで提供されるもの
米飯類（白飯、寿司、カレーライス、チャーハン、オムライス、ドリアなど）

※平成23年7月1日以降に、生産者が出荷したお米から表示義務対象となります。

- 問い合わせ
北陸農政局福井農政事務所消費流通課
TEL 0776-35-3225



家屋を取り壊した場合は連絡を!

家屋を取り壊した場合でも、そのままにしておくと、存在しない家屋に対して固定資産税が課税されたままになる場合があります。

家屋を取り壊したときには、税務職員が現地調査確認を行いますので、税務住民課固定資産担当までご連絡ください。

- 問い合わせ
税務住民課 TEL 45-9101



案内 日本脳炎の予防接種を受けましょう

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスを持つ蚊が人を刺すことにより感染し、比較的あたたかい西日本で多く発症がみられます。感染してもほとんどの場合は発症しないのですが、発症した場合には高熱、けいれん、意識障害などを引き起こして死に至る場合もあります。

■今年度の接種対象者

○今年3歳を迎えるお子様

第1期初回の接種期間は3歳に達した時から4歳になるまでの期間のため、接種の案内は誕生月の翌月に予防接種の通知をします。

※日本脳炎は生後6か月から接種ができますが、標準的な接種期間は上記の期間とされています。3歳未満のお子様で接種を希望される方は健康課までお問い合わせください。

○小学3年生および小学4年生

小学3年生および4年生は、保護者の方は必ず母子手帳で接種の有無を確認いただき、受けていなければ接種しましょう。

○その他

上記以外の方でも、平成7年6月1日～平成19年4月1日にお生まれの方で、第1期および第2期の予防接種を受けていない方は、20歳になるまでの間に予防接種を受けることができます。希望される方は健康課へお問い合わせください。

●問い合わせ

健康課 TEL 62-2721



案内 家電リサイクル法をご存じですか

国内の一般家庭から排出される家電製品は年間約60万トンにも及びます。しかし、処分される家電製品には再び利用することができる資源がたくさん含まれています。そこで、資源の再利用を促進し、廃棄物の量を減らすために、家電リサイクル法が平成13年4月1日施行されています。

■家電リサイクル法の対象製品

エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機

■リサイクル方法

- 1) 家電製品販売店に引き取ってもらう
 - ①販売店に引き取りの依頼をする
 - ②販売店へリサイクル料金、収集運搬料を支払う
 - ③リサイクル券の控えを受け取る
- 2) 自分でリサイクル施設に持ち込む
 - ①郵便局でリサイクル券をもらいリサイクル料金を支払う（※振込み手数料が必要です。1件あたり120円）
 - ②家電製品とリサイクル券を持ってリサイクル施設へ持ち込む
 - ③リサイクル券の控えを受け取る

品目	リサイクル料金（手数料を除く）	
エアコン	（大小関わらず） 2,100円	
テレビ	（16型以上） 2,835円	（15型以下） 1,785円
冷蔵庫 冷凍庫	（171ℓ以上） 4,830円	（170ℓ以下） 3,780円
洗濯機 衣類乾燥機	2,520円	

<注意事項>

※上記の料金は代表的な例です。料金はメーカーにより多少異なります。

■リサイクル施設

二州地区 …… 旬中村総合解体 TEL 0770-22-3521
若狭地区 …… 日本通運(株)小浜支店 TEL 0770-53-1050

●問い合わせ
環境安全課 TEL 45-9126